

地球の鼓動が聞こえる

世界報道写真大賞2011
サムエル・アランドラ(スペイン) ニューヨーク・タイムズ紙向け



「殺し屋の部」 恒成利幸 日本朝日新聞 組写真3位

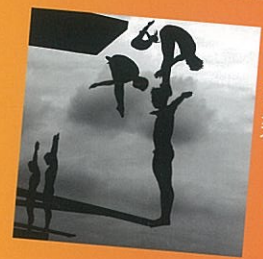
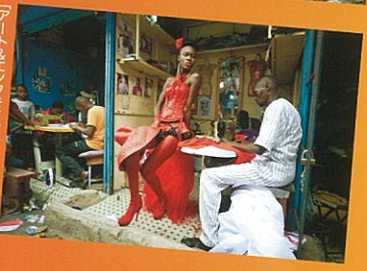


「現代社会の問題」の部 組写真1位
ステファニー・シングレア(アメリカ)
VII フォトエージェンシーからナショナルジオグラフィック誌



「自然の部」 組写真1位
フレント・スターク(南アフリカ)
グロリア・メーソン(南アフリカ)
ナショナルジオグラフィック誌

「アーティストの部」 組写真2位
ルー・ウァグネル(フランス)
ロバート・ロビンソン(アメリカ)



「スポーツの部」 組写真2位
アダム・プリチャード(オーストラリア)
グレッグ・テイラー(イギリス)

WORLD PRESS PHOTO 12

世界報道写真展

2012 11.4 (日) ▶ 11.18 (日) 10:00~17:00 (入場は16:30まで) 会期中無休

立命館アジア太平洋大学 (APU) 本部棟2階 コンベンションホール

JR別府駅(東口)より大分交通バス「APU行」にて終点「立命館アジア太平洋大学」下車、(西口)より亀の井バス「APU行」にて終点「立命館アジア太平洋大学」下車

■ 参観料：大人 500円 / 高校生以下無料 ■ 主催：立命館大学国際平和ミュージアム、立命館アジア太平洋大学、朝日新聞社、世界報道写真財団
■ 後援：オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、大分県、別府市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、NHK大分放送局、大分合同新聞社
■ 協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社、別府商工会議所、社団法人別府青年会議所 ■ 協力：大分交通株式会社、亀の井バス株式会社
■ お問合せ：立命館アジア太平洋大学 学長室 TEL.0977-78-1105 <http://www.apu.ac.jp/home/>



世界報道写真展

2011年一。この年は多くの人々にとって、「東日本大震災」による惨事とともに記憶され続けることになるでしょう。

大津波による被災とともに、福島第一原発の事故はとりわけ大きな禍根を残し、多数の住民や避難者が人生の岐路に立たされています。

今年で55回目を迎える「世界報道写真展」は、124の国と地域、5247人の応募の中から厳選された報道写真、約170点をご紹介します。

震災の爪痕を撮影した7名の写真家による作品もあります。

大賞には、中東のイエメンで反体制デモの最中に傷ついた息子を抱きかかえる女性を写したサムエル・アランダ氏の作品が選ばれました。

中東、北アフリカ各国での民衆運動やノルウェーでの大量殺人事件、密猟によって角を狩られるサイなど、

今年の展示作品も貴重な記録であると同時に見る者に強く訴える作品ばかりです。



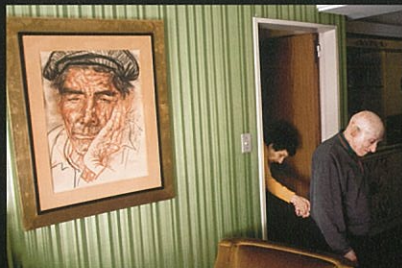
【アート&エンタテインメント】の部 組写真1位
ロブ・ホルンストラ
オランダ、インスティテュート・フォー・アーティスト・マネジメント



【現代社会の問題】の部 単写真1位
ブレント・スタートン
南アフリカ、ゲッティイメージズによるルポルターージュから
キエフ・ポスト/サンデー・タイムズマガジンへ



【日常生活】の部 単写真1位
ダミール・サゴルジ
ボスニア・ヘルツェゴビナ、ロイター通信



【日常生活】の部 組写真1位
アレハンドロ・キルチュク
アルゼンチン



【一般ニュース】の部 単写真1位
アレックス・マヨリー
イタリア、マグナム・フォトからニュースウィーク誌へ



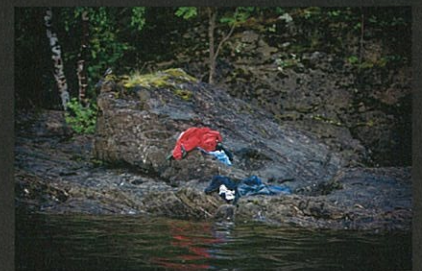
【自然】の部 単写真1位
ジェニー・E・ロス
アメリカ



【ニュースの中の人々】の部 単写真2位
トマシュ・ラザル
ポーランド



【スポットニュース】の部 単写真1位
ユーリ・コズイレフ
ロシア、ノール・イメージズからタイム誌へ



【スポットニュース】の部 組写真2位
ニクラス・ハマーストレーム
スウェーデン、アフトンブラデット紙向け